

令和3年7月7日

北杜市長 上村 英司 様

北杜市議会議長 加藤 紀雄

「ほくとトクトク商品券事業」に関する提言書

北杜市においても新型コロナウイルスのワクチン接種が急速に進んでおりますが、いまだ感染症の終息は見通せない状況にあります。

市では感染症拡大に伴い、疲弊している市内経済の活性化や低下している市民生活の向上を目的とした「ほくとトクトク商品券事業」を創出し、本年6月15日から販売の開始、7月1日から使用の開始を行っているところであります。

当事業については、当初予算の説明段階等において、議員から様々な懸念があり、議会といたしましてもその実施状況について注視してまいりました。

「ほくとトクトク商品券」はプレミアム率が50%と多額の公費が投入されており、より透明性、公平性や十分な周知が求められること。また、投資に見合った十分な効果が必要なこと。これらを踏まえ、以下の提言をいたします。

提 言

- 1 販売期間及び使用期間については、期間を延長し、公平性を十分考慮すること。
- 2 残分の販売にあたっては、期間、販売上限数及び多事業への転換等も含め十分検討すること。
- 3 期間の延長、残分の販売等にあたっては、市民がわかりやすい周知を徹底すること。